

The background features a soft-focus green bokeh effect with bright, circular light spots. In the upper right corner, there are several sharp, vibrant green leaves, likely from a birch tree, adding a natural, organic feel to the design.

事例から学ぶ投信販売

金融電卓 実践編

積立投資をお考えのお客様の運用目標(ゴール)の設定

金融電卓 実践編

積立投資をお考えのお客様の運用目標(ゴール)の設定

- お客様と長いお付き合いをしていくには長期的視点でお客様の資産形成をサポートしていく必要があります。人生100年時代を迎え今まで以上に長期的な目標設定をしていく必要があります。

長期的観点

ゴール設定

- 金融電卓機能を利用することで、お客様のライフプランに合わせた運用目標（ゴール）を共有できます。コミュニケーションの一環として利用してみましょう。



金融電卓 実践編

お客様との会話事例



お客様：

「積立投資を考えているのだけど・・・。」

アドバイザー：

「わかりました。ポイントは、毎月の積立額と積立期間、それとどの程度の運用成果を求めるかという事です。金融電卓を使ってシミュレーションをしてみましょう。」



アドバイザー：

「例えば・・・毎月10万円を30年間積み立てたとして、年率3%で運用できた場合の結果です。3600万円の積立額が30年後は約5800万円になります。」

現在～30年後 シミュレーション



金融電卓機能

ここで、トップ>トピックス>金融電卓>より積立投資シミュレーションタブを選択し、金額を入力します。

【入力金額】 ①積立金額：10万円、②運用利回り：3%、③期間：30年

現在～30年後 シミュレーション



金融電卓機能

左上ウィンドウには資産総額と積立累積額が表示され、累積額の推移がグラフで表示されます。

金融電卓 実践編

お客様との会話事例



アドバイザー：

「例えば、毎月3万円の積立、運用成果が年率で3%の場合は……。20年間の積立額は720万円、それが約980万円になります。」

「これを毎月5万円の積立にすると……。20年後は約1640万円になりますね。」

お客様：

「毎月2万円の差なのに、20年後はずいぶん違うんだね。」

アドバイザー：

「おっしゃる通りです。まさに、ちりも積もれば山となる、という事でしょうか。」



ポイント

ここでは長期積立の有効性を確認していきましょう。つぎに、具体的なシミュレーションへとつなげます。

現在～20年後 シミュレーション



積立投資シミュレーション

積立金額を3万円、5万円で比較し、長期間積み立てをした場合のイメージがわきやすくなります。

現在～20年後 シミュレーション



積立投資シミュレーション

積立金額を3万円、5万円で比較し、長期間積み立てをした場合のイメージがわきやすくなります。

金融電卓 実践編

お客様との会話事例

アドバイザー：

「更に、年率5%で運用できた場合は・・・。
20年後は、2000万円以上になります。」



お客様：「なるほどね」

「お客様、このように毎月の積立額と期間、運用目標を設定してシミュレーションする際に大事なのは、
ゴールをどのように設定するかということなんですよ。」

お客様：「それはどういう事？」



現在～20年後 シミュレーション



積立投資シミュレーション

先ほどのシミュレーションで3%だった運用利回りを5%に変更します。すると、1600万円だった積立額が**2000万円**を超えます。

金融電卓 実践編

お客様との会話事例

アドバイザー：

「先のシミュレーションで20年間積み立てた2,000万円と、その時点での預金が1,000万円あると仮定した場合、毎月いくら引き出すことを想定しているか、またその時に運用を続けるかどうかを決めます。」

「20年後に運用をやめる一方で毎月10万円づつ引き出しますと、40年後は3000万円の資産が600万円まで減少します。」

「そこで半分の1500万円を引き続き運用すれば、毎月10万円づつ引き出しても2400万円と大きく減りません。」

「人生100歳時代、積立終了後も含めて資産形成を考える必要があるという事です」

お客様：「非常によくわかりました。毎月5万円を積み立てて5%運用利回りを目標にするよ。それが可能なファンドはあるのかなあ？」



金融電卓 実践編

積立投資をお考えのお客様の運用目標(ゴール)の設定

20年後～シミュレーション

運用をやめる場合

20年後～ シミュレーション



600万円

運用をやめる場合

まず、トピックス＞金融電卓＞より、預金引き出しと運用シミュレーションタブを選択します。

ここでは、①当初運用比率：0%②全資産：3000万円③毎月引き出し額：10万円④運用利回りは運用比率が**0%**なので変更不要④期間：20年と設定します。
すると、20年後の資産は預金が**600万円**のみとなり、資産が底をつく危機が迫っています。

金融電卓 実践編

積立投資をお考えのお客様の運用目標(ゴール)の設定

20年後～シミュレーション

資産の半分を運用し続ける場合

20年後～ シミュレーション



資産の半分を運用し続ける場合

つぎにはリタイア後は積み立てた資産の半分を運用し続け、毎月10万円とりくずしていった場合、預金が底をつくたびに半分預金に回すという想定で比較してみます。

①当初運用比率：50% ②全資産：3000万円 ③毎月引き出し額：10万円 ④運用利回り：3% ⑤期間：20年と設定します。

すると、20年後の資産は預金が**600万円**と運用資産が**717万円**となり、資産が底をつくまでの期間を延長することができました。

金融電卓 実践編

積立投資をお考えのお客様の運用目標(ゴール)の設定

- ここで導き出された運用目標の運用実績のあるファンドをもとにファンド検索機能などを使ってお客さまへのファンド提案につなげましょう。

運用目標

人生100年時代

- 金融電卓を使って導き出された運用目標で長期的なスパンでリタイア後も現在の生活水準を維持しつつ長寿時代を安心して生活できるのかを視覚的に確認していただけます。



The background of the entire page is a soft-focus green bokeh. In the top right corner, there are several bright green leaves with serrated edges, partially obscuring the bokeh.

お問い合わせは 投信NAV Iサポートセンター

0120-104-529

受付時間 平日8：30～17：30

この資料で表示されているファンド検索結果や損益分析のシミュレーション結果は日々変動しており、資料と同一の結果とならない場合がございます。また、過去の運用実績をもとにしたシミュレーション結果は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。また、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。